

「太平記」と所沢の歴史を学ぶ

2023-12-2 記 佐野喜代子

開催日 2023-11-24 (金)
参加者 21 名 (会員 20 名、食とこ会員 1 名)
集 合 所沢駅西武所沢 S.C.前 2 番バス乗り場 9:10 またはバス停水天宮下 9:30
特別講師 武蔵野学院大学教授 高橋恵美子先生
行 程 10:00~10:30 鳩峯八幡神社
10:45~11:05 将軍塚
11:20~12:00 久米川古戦場跡 現地解散

朝は少し寒いぐらいでしたが小春日和に恵まれ、時間には先生はじめ予定通り集合、バス停での待ち合わせもスムーズに鳩峯八幡神社に向かいました。直ぐに暑いと言って一枚脱ぐ人もいるくらいの陽気になりました。

○鳩峯八幡神社 代表より先生のご紹介、先生のご挨拶

元弘三年(1333)5月8日に上野国生品神社にて挙兵した新田義貞軍と鎌倉幕府軍は小手指ヶ原で合戦、翌日早朝久米川に在陣していた幕府軍を攻撃し、勝利。深追いせず人馬を休めた。その場所が鳩峯八幡神社であり次に目指す将軍塚となります。ここには義貞兜掛けの松と言われる松の何代目かがありました。何代目かは定かではありませんが植えて3~4年とおぼしき若い松が育っていました。



鳩峯八幡神社へ



鳩峯八幡神社・義貞兜掛けの松の碑

○將軍塚

鳩峯八幡神社より松ヶ丘の住宅街を抜け、紅葉のきれいな尾根道をしばらく歩くと將軍塚です。ここには碑が立っていますが昔の様子とはだいぶ変わっているようです。

江戸名所図会、新編武蔵風土記稿などによると、ここ八国山は眼界蒼茫として実に駿河（富士）伊豆（天城）相模（雨降・・大山）甲斐（丹波山）信濃（浅間）上野（吾妻）下野（日光）常陸（筑波）を一望できる場所ゆえにこの名前が付いたと書かれています。



將軍塚の歴史を学ぶ

○久米川古戦場跡

ここは東京都東村山市になります。囲いがあり古戦場跡の説明板があります。

ここで予定通り解散となり所沢に戻る人、東村山に向かう人に分かれました。けが人もなく全員気持ちよく山道を散策し軽く汗をかくことができました。

解散後東村山駅に向かわれる先生に鎌倉街道を歩き徳蔵寺の場所をご案内しました。末筆になりますが、気持ちよく私たちの要望にお応えくださった高橋先生に改めて感謝申し上げます。

今回の担当 Cグループ 佐藤八郎 荒幡千鶴子 佐野喜代子



久米川古戦場跡(集合写真)